

2018年3月23日

手術室内での IP ベースの 4K 映像伝送に対応 手術室システムズインテグレーション「EasySuite® 4K」を米国で発売 病院のニーズに合わせたソリューションを提案し、病院経営の効率化をサポート

オリンパス株式会社(社長:笹 宏行)の北米および中南米における地域統括会社である Olympus Corporation of the Americas(ペンシルバニア州、以下OCA)は、手術室内でのIPベースの4K映像伝送に対応した次世代手術室システムズインテグレーション「EasySuite® 4K」(イージー・スイート)を3月22日*1から米国で発売します*2。本製品は、2017年6月にOCAが完全子会社化した Image stream Medical, Inc.(マサチューセッツ州リトルトン、以下ISM社)の映像伝送・配信技術や事業基盤を活用し、製品化しました。

近年、手術の高度化・複雑化に伴い、手術室ではさまざまな診断・治療機器が使用されています。その中で当社は内視鏡外科手術において術中に機器の操作を集中制御したり、さまざまな映像、情報を複数のモニターに表示することで、医療従事者の負担軽減、業務効率化に貢献する統合型手術室の構築を行っています。ますます複雑化する手術室のニーズに対応するため、昨年 ISM 社を当社グループの一員として迎え、手術室インテグレーションに関する提案力や技術力のさらなる強化を目指しています。

今回発売する「EasySuite® 4K」は、手術室のあらゆる映像(HD/4K 規格の双方に対応)をシームレスにモニターに伝送・表示でき、ネットワーク経由で手術室外・院外への映像記録や配信が行えるシステムです。オリンパスグループでは、病院のニーズに合わせて、最適なシステムを提案、構築するためのコンサルティングや設計・施工、また稼働後も安心してご使用いただくためのトレーニングやサポートサービスを提供しています。このように、幅広い診療科に対応した手術室を構築することで、病院経営の効率化をサポートします。

※1 米国の現地時間 ※2 医薬品医療機器等法未承認

●発売の概要(米国)

製品名称	発売予定日
EasySuite® 4K-1200	2018年3月22日

●主な特長

1. 手術室のあらゆる映像(HD/4K 規格の双方に対応)をシームレスにモニターに伝送・表示可能
2. 光ファイバーによる 10GB IP 伝送に対応
3. ネットワーク経由の映像記録・配信が可能
4. エンタープライズレベルのセキュリティー対策・管理をサポート



「EasySuite® 4K」の利用例

●主な特長

1. 手術室のあらゆる映像(HD/4K 規格の双方に対応)をシームレスにモニターに伝送・表示可能

機器ごとの映像規格・伝送距離の違いを意識することなく、内視鏡映像や CT 映像、生体・機器情報、電子カルテ情報等を術中に必要なタイミングで、最適なレイアウトでモニター表示することが可能です。HD 映像に加えて 4K 映像の非圧縮伝送に対応しているため、当社が販売する 4K 外科手術用内視鏡システムと組み合わせることで、4K の高画質をそのままに手術室内で伝送することが可能です。

2. 光ファイバーによる 10GB IP 伝送に対応

光ファイバーによる 10GB IP 伝送^{※3}に対応しているため、煩雑になりがちな映像ケーブルの取り回しがなく、標準的なネットワーク機器を用いた互換性、拡張性の高い映像伝送システムが構築可能です。

※3 インターネット、LAN で使用されている通信規格

3. ネットワーク経由の映像記録・配信が可能

病院の既存のネットワークインフラやインターネットを活用した映像記録・配信が可能です。例えば、各手術室で記録した内視鏡映像を院内のサーバーで一元管理して、院内外の端末から検索、オンデマンド再生、ライブ中継することが可能になるなど、さまざまな映像や情報の容易なアクセス・活用をサポートします。

4. エンタープライズレベルのセキュリティ対策・管理をサポート

病院の既存の情報セキュリティ体制・ポリシー（他システムと共通のユーザーアカウントによるアクセス制御、ウイルス対策など）に統合可能であり、病院による一体的で効率的なセキュリティ対策・管理や HIPAA など^{※4}の医療情報セキュリティに関わる法規制の遵守をサポートします。

※4 病院・病院委託先事業者による医療情報の取り扱い、プライバシー・セキュリティ対策について定めた米国連邦法

本リリースに掲載されている社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。